

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105180
法人名	(株)メディックス
事業所名	グループホームパートナーハウスすずらん
所在地	松山市高井町1296-1
自己評価作成日	平成25年5月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個々の思いや意見を大事にし、今までの生活スタイルをなるべく崩さない様支援している。また夢企画では入居者様の希望を少しでも叶えられるよう そしてゆったりと入居者様のペースに合った生活をしていただけるよう日々頑張っております。 シーズー犬のゆう太が今もセラピー犬として活躍しています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●近所にある公園や神社によく散歩に出かけておられる。近所に住むお年寄りがその様子を見ておられて、ご本人が希望されて入居に至ったようなケースもあったようだ。外に出て庭を掃いたり、草ひきする方や、又、事業所の畑では水やりや収穫等を職員と一緒に楽しんでいる。個別の希望は、「夢企画」の中で実現できるよう支援されており、外食等、職員と二人で出かけておられる。毎月計画を立てて、ドライブやショッピング、季節の花を楽しみに出かけておられ、この春は、牡丹が咲く小松町・法案寺や、訪問調査前日には吉海町のバラ公園に出かけられた。調査訪問時には、利用者が職員に、「また、どこか連れて行ってね」と話しかけている様子がうかがえた。

●月1回のミーティング時等に、行事の企画や外出先を決める等、職員は積極的に意見を出し合い、話し合っておられる。又、誕生日の手作りケーキやお寿司等の調理も、職員がアイデアを出して担当されている。法人は、職員の資格取得時に問題集を配布する等してサポートされている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームパートナーハウスすずらん

(ユニット名) かえで

記入者(管理者)

氏名 渡部 千代美

評価完了日

平成25年5月15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) <運営理念> ・利用者の人格と価値観の尊重 ・利用者の自己決定の尊重 ・安心と意欲もてる自立生活への支援 ・家族、地域社会との交流支援。と掲げている ・「あるがまま」を笑顔で支える家族と共に地域と共に	
			(外部評価) 運営理念を事務所や共用空間、職員用トイレに掲示し、職員が個々に振り返りができるようにされている。管理者は、これまでの介護施設での経験を活かして、理念をより具体的に職員に話しておられる。管理者は、近所の方に「気軽にお茶を飲みに来てもらえる事業所にしたい」と考えておられ、夏に向けゴーヤを育て、地域の方とのお話のきっかけにしたいと考えておられた。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 回覧板をまわしたり、ゆう太の散歩時に近所の方と会話をしたり溝掃除や公民館の掃除に参加して交流をしている	
			(外部評価) 昨年度、法人内の異動で管理者が交代した際には、近隣のお宅にあいさつに回られた。又、散歩時には、あいさつを交わしたり、時には、立ち話等することもある。地域の夏祭りには、利用者と一緒に出かけられ、秋祭りには、利用者は庭に出て神輿を見学等して楽しんでおられる。地域清掃日には、職員が参加して地域の方達と一緒に活動されている。管理者は、今後、「クリスマス会や敬老会に近隣の園児を招待したり、地域のボランティアを受け入れたい」と考えておられた。近々、事業所の畑にサツマイモの苗を植えて、秋には、「近隣のお宅へおすそ分けしたい」と話しておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ・同系列(かとれあ、こすもす、なでしこ)と、4施設合同の納涼祭を開催している。消防訓練の時など近隣の方に声を掛けホームに訪ねて頂き認知症の理解をして貰えるよう努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 利用者の活動状況などを報告し外部評価の結果等も報告している。GH交流会の時発表した 簡単手作りお菓子を実際にホームで作って参加者に食べて頂き大変喜ばれた</p> <p>(外部評価) 運営推進会議は、町内会長、民生委員、市の担当者やご家族が参加されている。会議は、1階ユニットの居間で開催されており、利用者も数名参加されている。会議では、利用者の状況や行事、研修の報告等、事業所の活動を報告して、メンバーに意見をうかがっておられる。又、避難訓練や法人の社内研修のテーマによっては、会議と併せて開催し、一緒に学ぶ機会を作っておられる。メンバーからは、「職員の資格所有者はどのくらいいますか?」「入院時、何ヶ月までいることができますか?」等、具体的な質問も出されるようだ。ご家族には、毎回、テーマを示して案内を送付されるが、参加者は少な目である。今後、ご家族が参加しやすい会議について、工夫をさらに重ねていかれてほしい。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 公民館、支所などを通じ、地域にあるサービスや行事などの助言等ももらっている。運営推進会議の時も色々と助言して頂いている。</p> <p>(外部評価) 地域包括支援センターは、エリア内のグループホーム18か所ほどが集まる機会を定期的につけてくださっており、事業所職員も参加して、勉強会や情報交換をされている。運営推進会議時には、市の担当者の方から、季節ごとに、食中毒や熱中症、ノロウイルス等気を付けることを教えていただいている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ホームでの話し合い、勉強会への参加、マニュアル作成等で身体拘束について理解している。</p> <p>(外部評価) 「身体拘束をしないケア」を実践できるよう、社内研修と運営推進会議を併せて行なう等して、ご家族等と一緒に学ぶ機会を作っておられる。調査訪問日は、玄関は解放されており、利用者が自由に入り出て、事業所の庭を散歩されていた。現在、利用者の状態によっては、「職員が手薄になる時間帯」「利用者ご本人の状況」により、車イスのブレーキをご自分の力では外せないようにしているケースがあるが、今後も、利用者の自由と安全の両面から拘束のないケアの実践に向けて話し合いを続けていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止の勉強会に参加し、ミーティング等にて情報共有を図るよう努めている。 マニュアル作成している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ・社内研修にて成年後見制度について学んだ ・成年後見制度を利用される方に対し関係者への連絡調整をおこなっている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者、家族が十分に納得できるまで個別に誠意をもって対応にあたっている。また不明な点等あれば、いつでも相談にのっている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や、苦情等があれば、すぐに職員及び管理者が誠意をもって対応、対処するよう努めている。また、入所の際ホームの苦情相談窓口及び第三者機関相談窓口(松山市介護保険課など)の連絡先についても説明している。 (外部評価) 各居室の入り口には、個々の担当職員の名前と写真を貼り、ご家族等に紹介されている。受診結果は、必要に応じて、ご家族に電話で報告されたり、毎月の通信「すずらん便り」に記入して送付されている。便りには「〇〇様の近況をお知らせします」「健康面の様子」と、個別欄を設けておられ、職員が記入するようになっている。敬老会やクリスマス会等、ご家族にも案内されるが、参加いただくことは少ないようだ。又、ご家族の来訪時に口頭で意見や要望を聞いておられるが意見や要望は少な目のようだ。	事業所のことをさらに知ってもらえるような情報提供に工夫を重ねられ、利用する側であるご家族の立場からの意見や要望を引き出していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			一方的ではなく、職員の意見に耳を傾け一緒に話し合い協力しあう姿勢で対応している。	
			(外部評価)	
			月1回のミーティング時等に、行事の企画や外出先を決める等、職員は積極的に意見を出し合い、話し合っておられる。又、誕生日の手作りケーキやお寿司等の調理も、職員がアイデアを出して担当されている。事業所の庭にある畑は、職員の提案で芝生を剥がして、畑に変更されている。法人は、職員の資格取得時に問題集を配布する等してサポートされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			勤務状況、実績など、定期的に把握されており、経験に応じた研修の受講を積極的に行えるよう取り組んでいる。また、才能を発見し強化している。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			勉強会への参加や資料作成などで情報共有を図り、能力向上に努めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他のグループホームへの定期的な勉強会や交流会、同系列の(かとれあ・こすもす・なでしこ・道後)等との行事を交えた交流会などを行っている。また、施設合同<運営会議>にての勉強会を行っている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			できる限り話をする機会を設けて、気持ちを受けとめる様努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) いつでも相談しやすい雰囲気をつくり、相手の気持ちをくみ取りながら一緒になって取り組んでいく努力をしている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者本人と家族の希望、要望をふまえた上でどのようなケアプランが必要なのか話し合うようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者に裁縫やカラオケなど、得意としていた分野について話しをしながら一緒に実施することで、職員は学んだり、アドバイスを受けていたりしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人の状態についての情報を共有し、行事や来所時等に話しをするなど、本人への支援方法などについて話し合っている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 自由な面会時間や気楽に尋ねてきやすい雰囲気作りに配慮している。生まれ育った所に行きたいときにはいけるようにしている (外部評価) 事業所は、利用者個々の希望をかなえる「夢企画」に取り組みされており、「故郷に行きたい」と希望された利用者は、職員と一緒に久万高原町までドライブに行かれて、三坂峠等、懐かしい風景に感激されたようだ。近くのお墓参りは、職員が同行されており、遠方の場合にはご家族にご本人の希望を伝え、ご家族と県外のお墓参りに行かれた方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ホールにて同じテーブルに座る人の位置を配慮したり、いろんな話題を提供するなど、声かけをおこなっている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ・退居された後でもいつでも遊びに来れるような雰囲気を作っている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意思疎通が図れる場合は、本人、家族と話し合い意見を尊重している。意思疎通が困難な方は、何を求めているかを察知できるよう、職員同士話し合い等行い日々努力している。 (外部評価)	
			「夢企画」は、個々に年数回、実施されている。「夢企画」では、日々の会話から希望や思いの把握に努めておられるが、自ら希望を表出されない方は、二者択一等で食べたいものを探り、スイーツを食べに出かけたようなこともある。	日々の中から得た利用者個々の情報を蓄積するための様式等も工夫されて、介護計画につなげ、利用者のその人らしい暮らしの支援を実践していかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居の際、家族または本人に情報を得ている。また意思疎通が難しく、家族のいない方の場合、入居前の施設等から情報を得ている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員全員が把握し状況に応じて対応にあたっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々人の状況に応じ、本人及び家族と話し合い計画を作成するよう努めている。来訪時には、近況と共に家族へケア内容等の説明を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、職員で話し合い、管理者が作成されている。管理者は「本人の希望を優先した介護計画」作成に心がけておられ、「できる事は自分でしたい」と希望される利用者には、洗濯物たたみや縫い物の作業の中で、ご本人ができることを行えるよう計画されていた。計画内容については、「援助計画チェック表」で、「○、△、▽、×」で毎日、チェックを行い、それをもとにして月1回モニタリングを行っておられ、3～6ヶ月に1回計画の見直しをされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日介護記録を記入し、また別に職員間の連絡ノートにて情報を共有している。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族の要望に対して、その都度柔軟な対応を行っている。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>避難訓練、地域行事の参加、地域のボランティアなど、積極的に参加している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及び、家族の希望する医療機関へ適時受診できるよう支援している。	
			(外部評価) 本人やご家族の希望により、現在はほとんどの利用者が、事業所の協力医療機関をかかりつけ医にされており、週に1回、往診を受けておられる。ご家族が付き添って以前からのかかりつけ医で受診される方もいる。専門医の受診は、職員が付き添っておられ、ご本人の状況により、往診していただくこともある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 個々に応じて看護職員に相談、協力しながら対応にあっている。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院された際、定期的に面会を行い洗濯物等の交換を行い、ドクターあるいは、看護師と情報交換を行い早期退院等に努めている。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 必要に応じ、終末期については家族や医療機関また職員等で話し合っている。全体ミーティングにて看取りについて話し合った	
			(外部評価) 「看取り介護に関する指針」を整備しておられ、協力医療機関は24時間体制になっている。職員は、事業所内外の看取りに関する勉強会に参加しておられ、職員間で協力し合い、看取り支援に取り組んでおられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ほとんどの職員は応急手当の講習をうけており、また急変時対応マニュアルを作成している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域の方々の協力を得、避難訓練を実施、運営推進会議による町内会との連携体制等、日頃から働きかけを行っている。 (外部評価) 年2回、夜間の火災を想定した避難訓練を実施されている。3月には、消防署の協力を得て、利用者も参加して行われた。職員は、訓練を実施して「通報訓練の必要性」を感じられたようだ。消防署の方からは、「避難した利用者が分かるように、居室のドアに目印等工夫してほしい」とアドバイスをいただいた。管理者は、避難訓練実施時、事前に近隣のお宅を訪問して知らせ、訓練への参加をお願いされたが、今回は参加いただくまでに至らなかったようだ。地区内にある系列事業所で水や食料を一緒に備蓄されている。	事業所の有用性を活かして「事業所が地域に協力できることはないか」職員で話し合う機会も作ってみてはどうだろうか。さらに地域と協力し合って安心・安全に向けた体制を作っていかれてほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 記録等の個人情報事務所の鍵付きの棚で保管しており、職員による個人情報の秘密保持も徹底している。入居者への言葉かけも相手の立場に立った気持ちで対応するよう心がけている。 (外部評価) 調査訪問日の昼食時、職員は笑顔とやわらかい口調で介助しておられた。隣に座っていた利用者の方は、その様子をみてニコニコされており、穏やかな雰囲気を感じられた。トイレに置かれた個別の排泄用品には、のれんをかけて目隠しをされていた。職員が利用者の居室に入る際には、必ずノックと声かけをしてから開けるようにされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) わかりやすく、ゆっくりとしたペースでお話しし、自己決定を尊重しながら、生活の支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 無理強いせず、本人のしたい事を取り入れながら、支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望にて、理美容(カット、髭剃り等)美容師に訪問してもらい実施している。洋服など本人の好みに合わせて、一緒に購入するようにしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備等は一緒にできる方があまりいらっしやらない	
			(外部評価) 業者から決まったメニューの食材が届き、各ユニットで職員が調理されている。食事内容により、事業所の畑で採れた野菜を使用する等しておかずを追加されている。個々の誕生日は、ご本人のお好きなメニューに変更したり、手作りケーキでお祝いされている。調査訪問時、職員は利用者の間に入り、同じものを食べながら見守りや介助をされていた。利用者が「ごちそうさま。おいしかった」と感想を言われたり、食後にトレーを拭いておられる様子もみられた。時には、さや付きの豆を用意して、利用者が自主的に作業できるような場面も作っておられる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事量、水分量の把握に努めている。バランス良く栄養摂取できるよう、食事の形態、量について常に検討し、必要に応じ主治医の意見を聞いている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 夜間は確実に実施できているが、毎食はできていないこともある。食物残渣はないか、また服薬後の確認等はおこなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	個人に合わせ、プライバシーを配慮しながら排泄パターンを把握し対応している。	
			(外部評価)		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	毎日の食事になるべく多くの野菜を取り入れる。1日1000ℓ～1500ℓの水分補給を促す。また食前の口腔体操の時 腸トレ体操も取り入れている。	
			(外部評価)		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	無理強いせず、本人の希望を聞きながら入浴していただいているが、最低週2回以上は入っていただくよう支援している。	
			(外部評価)		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	本人の希望により、休んでもらうようにしている。また、夜もテレビをみたりと個人のペースでしてもらっている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの現在使われている薬を分かるように記載している。また薬の効能書きをファイルに同じ副作用等が分かるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居者同士が楽しく会話できるよう環境づくりをしたり、散歩をしたり、おりがみ、壁画作成などをしていただいている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候がよく体調のよい時は、散歩、外気浴ができるよう努めている。	
			(外部評価) 近所にある公園や神社によく散歩に出かけておられる。近所に住むお年寄りがその様子を見ておられて、ご本人が希望されて入居に至ったようなケースもあったようだ。外に出て庭を掃いたり、草ひきする方や、又、事業所の畑では水やりや収穫等を職員と一緒に楽しんでいる。個別の希望は、「夢企画」の中で実現できるよう支援されており、外食等、職員と二人で出かけておられる。毎月計画を立てて、ドライブやショッピング、季節の花を楽しみに出かけておられ、この春は、牡丹が咲く小松町・法案寺や、訪問調査前日には吉海町のバラ公園に出かけられた。調査訪問時には、利用者が職員に、「また、どこか連れて行ってね」と話しかけている様子がうかがえた。時には、ご家族や地域の方も一緒に外出を楽しめるような機会も作られてはどうだろうか。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在 ご自分でお金を管理されている方はいないが希望があれば いつでも一緒に使えるようにしている	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人希望時、電話をかけてもらったり、家族、友人からの電話は引き継ぎを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				共有空間はすべて家庭的な雰囲気であり、また常に季節の草花を生けるなどしている。
			(外部評価)	
			事業所の周りは、田園が広がっており、開け放した玄関や窓は、よく風が通っていた。事業所の周りは生垣で、石灯笼や金魚が泳ぐ池が配置された庭や、門扉や玄関は、格子の引き戸で和風の造りになっている。玄関には、花菖蒲を飾っておられた。食卓テーブルの椅子は、回転するようになっており、利用者のご自分の力で向きを変えやすくなっている。畳のコーナーや、ソファと小さいテレビが置かれたコーナーがあり、時には、利用者が一人で過ごすような場所になっている。調査訪問日の午後、利用者同士で手を摩り合いながらおしゃべりしている様子や職員と小声で歌を歌っている様子もみられ、利用者の方が「ここは、みんな仲がいいのよ」と話してくださいました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
				ソファを置き、くつろげる空間を確保している。
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				個々人によって生活用品を持ち込まれている方もおられるが、身寄りのいない方、また病院生活が長く、そのまま入居となった方は衣類と衣装ケースのみである。
			(外部評価)	
			利用者不在の居室は、できるだけ窓を開けて換気されている。ベッドは、備え付けになっており、個々にダンスやテレビ、机、イス等を持ち込まれている。ご家族の写真やひ孫の写真や壁面に飾っている居室もみられた。ご家族が準備されたハンガーラックにブラウスやカーデガンを吊るし、ご自分で選んで着用されている方もある。今後さらに、利用者ご本人の居心地の良さにこだわり、利用者の希望やご家族にも相談しながら居室のしつらえを工夫されてみてはどうだろうか。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
				廊下には、すべて手すりが付いており、トイレのスペースも広く、すべてがバリアフリーになっている。車イスの方でもゆつたりと湯船につかれるよう、機械浴を設置している。